

令和元年度下期 電力利用効率化見学会

九州地方電力利用効率化協議会では、令和元年度下期見学会を11月15日(金)に、福岡地区で開催し、19社30名に参加いただきました。

今回は、省エネ大賞省エネ事例部門経済産業大臣賞を平成25年度に受賞した大和ハウス工業(株)九州工場と平成30年度に同じく資源エネルギー庁長官賞を受賞したダイキン工業(株)福岡ビルを訪問しました。

【大和ハウス工業株式会社九州工場】

午前は、鞍手町にある「大和ハウス工業(株)九州工場」を訪問しました。

最初に工場概要の説明があり、続いて省エネの取組事例の説明を受けた後、第1工場の見学を実施しました。

九州工場は大和ハウス工業の全国9つの生産拠点の一つで、ハード・ソフト両面から徹底した省エネに取り組んだ省エネモデル工場を構築されています。第1工場では、①フレーム材料の見直しにより外壁フレームの電着塗装を不要にした工程や②個々の機器の動作状況確認をPC閲覧から常設大型タッチモニターに変更した「見せる化」などを見学しました。「見せる化」で「見る」人が増えるに伴って、新たな問題点が発見できたとのことでした。

参加者からは、「他工場の省エネの成果を観て、解説を直接聴くことで、取組み内容がよく理解できた」「FEMSの活用方法がよくわかった」などの意見がありました。



▲ 大和ハウス工業株式会社九州工場前での記念撮影に収まる参加者

【ダイキン工業株式会社】

午後は、福岡市博多区にある「ダイキン工業(株)福岡ビル」を訪問しました。

最初に会社概況の説明があり、続いて省エネの取組事例の説明を受けた後、福岡ビルのZEB施設を見学しました。

省エネ等の取組として、①調湿外気処理機で湿度をコントロールすることで、エアコンは温度処理に徹し、エアコン負荷を低減。②空調・照明の高効率機器への更新とタッチパネル導入による人による集中管理で省エネに貢献。③空調機器更新時に、既設の空調運転データを分析し、パソコンがデスクトップ型からノート型となるなど、当初設計時から経年による室内条件の変化を織り込んだ低容量の機器を選定。④外出から帰社時の個人の身体を集中的に冷やす/温めるスペース(スポット送風)を1階エレベーター横に設置。⑤内窓の設置。⑥太陽光(20.8kW)設置。

参加者からは、「ダイキン工業のDALI規格(欧州の照明設備の制御規格)制御が知りたかったので、たいへん参考になった」「省エネの工夫が小さなものからあるので自社でもすぐに導入できる対策もあり、見学で気づきが得られた」「最新のエアコンや調湿外気処理機を知ることができた」などの意見がありました。



▲ ダイキン工業株式会社福岡ビル内の見学の様子

今後も、様々な設備や多方面の業種を選定して見学会を計画したいと考えております。